



## ◆◇「秋の町内文化祭」、喜んでいただきました◆◇

11月17(金)～19(日)の三日間、催した第1回文化祭、無事終了です。初めての試み故、どれだけ出展作品が集まるだろうか、お越しになるお客様は何名くらいかと心配しておりました。

実際には予期した以上の出展と来場者で“やってよかった！”。かねてこの町内には、絵、書、陶芸、手芸、和歌、俳句などを趣味としておられる方が少なくないと仄聞しておりましたが、本当に驚く程の素晴らしい作品が多数集まりました。

最新の力作に加え、逝かれたご家族の遺作、お歳を召して新規制作は困難になられた方が以前に描かれた入魂の作、子どもたちの微笑ましい作品、助け合いの会の皆様が制作した夏祭り用法被などが大ホールを埋めました。そして9ブロックの川島さんが活けてくださったお花が、会場に彩りをそえておりました。



☆展示会場の様子☆



☆ミニミニリース作りを楽しむ方々☆

今回の文化祭は、17日：折り紙サンタ作り、18日：クリスマスリースの制作教室、19日はライヤー演奏によるチャリティ・コンサートも併催しました。そちらも好評を博しました。

来場され、お名前を記帳された方は163名、アンケートに回答して下さった方は58名に上ります。アンケートの回答を整理すると、次のようなお声が多数でした。

- ・この町内にお住いの方の作品がこんなに見事なものばかりで驚きました。(28件)
- ・是非、今後も継続してください。(14件)
- ・子供の作品があって良かった。もっと増やしてください。(4件)
- ・来年、私も出展を考えます。(5件)
- ・告知が十分でなかったなので、工夫してください。(3件)

17日(金)午後、出展された皆様の中で10余名の方にお集まりいただき、団欒の場を設けました。驚いたことに、殆どの方が仕事をリタイアしてから(男性)、子育てが一段落して後(女性)、お始めになったそうです。元々、お好きではあったのでしょうか、その後の努力でここまで達したことに目を見張る思いです。

皆様のお声に応え、これから秋の定例行事にしていく所存です。回を加える毎に、新たな出展者が増えることを期待しております。

ご提案、ポスター作成、人脈を活かしての出展お誘い、会場構成など、全般を牽引下さった9ブロックの斎藤眞子さん、本当にありがとうございました。貴女にとって、この大平山丸山は第2の故郷だと思います。大田区のご実家に移った後も、この文化祭などの地域社会交流のため、力をお貸し下さい。

(町内会のホームページに、会場の写真を交え、詳しい開催報告を掲載いたします。そちらもご覧ください)

## ◆◇地区計画説明会、前半終了、30日もございます◆◇

11月23日に、地区計画説明会を開催いたしました。

第1回の説明会には28名、第2回目の説明会には15名の方々がご参加くださいました。

説明会は来週30日(木)にも第3回：午前10時～11時、第4回：午前11時～12時を行います。地区計画拡大について判断を迷われている方は、是非ご参加いただきたくお願い申し上げます。

説明会の状況につきましては、30日終了後、まとめてご報告申し上げます。

## ◆◇「超高齢社会対応まちづくり」第2回対話集会、活発な意見交換でした◆◇



☆グループに分かれての作業風景☆

「人生100年時代を迎えて、地域社会はどうあるべきか」をテーマに、第2回対話集会が11月23日午後、町内会館で開かれました。出席者は前回同様、町内会有志、東京大学・高齢社会総合研究機構(IOG)と鎌倉市の都市計画課の皆様です。町内会からは予定を上回る40名の皆様にご参加下さり、7つの島に分かれて対話を行いました。

「現状分析と課題の特定」は前回行いましたので、今回は「地域の特徴・資源を共有する」から始まりました。各島で、地域のお勧めの場所、交流地点、お買い物のお店などを地図に記します。次に、2030年の望ましい自分の姿、まちの姿を各人思いつくままに書きます。さらに、望ましいまちの姿を想定しながら、この地域の強み、弱み、追い風、向かい風分析を行いました。談論風発、気が付いてみたら、予定の4時をかなり過ぎておりました。参加の皆様、お疲れ様でした。

次回は年明けに開催、「住民が考える望ましいまちの将来像」をまとめるとともに、「学と行政から見た地域課題」を指摘いただく予定です。

次回開催が決まりましたらお知らせいたします。ご参加、ご協力をお願い申し上げます。



☆各グループの発表の様子☆